

2019年9月18日

— 西日本シティ銀行 創立 15 周年記念事業 —  
 「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」の開催について  
 ～ 鑑賞者 400 名を無料ご招待 ～

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、公益財団法人福岡文化財団（理事長 久保田 勇夫）との共催により、地域で継承されている神楽や神舞を紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を開催しますので、お知らせします。

本年は、西日本シティ銀行創立 15 周年を記念し、「神楽」や「神舞」に加え、子供たちによる「幸若舞」や「能楽」の「舞」をご紹介します。

なお、この公演に鑑賞者 400 名を無料ご招待しますので、鑑賞ご希望の方は下記要領にてお申込みください。

記

■開催概要及び鑑賞申込要領

日 時	2019年11月4日（月・祝）14：00～16：00（開場 13：30）
会 場	大濠公園能楽堂（福岡市中央区大濠公園 1-5）
出演団体	神楽／津野神楽保存会、巫女舞／住吉神社 幸若舞／幸若舞保存会、能楽／宝生流ふたば会
招待者数	400名（要事前申込 全席指定 入場無料）
申込方法	1. ハガキ、Eメールの場合 ①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加人数（1枚5名まで）を明記のうえ、お申込みください。なお、Eメールの場合は件名を「日本の神様と舞い踊ろう申込」としてお送りください。 2. FAXの場合 チラシ裏面の専用お申込み用紙に記入のうえ、お申込みください。 ※チラシは西日本シティ銀行の各店舗に9月20日以降に設置します。
申 込 先	〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-1-15F 西日本新聞メディアラボ内 「日本の神様と舞い踊ろう」事務局 宛 FAX:092-731-2232 E-mail: info@bunka-zaidan.or.jp
申込締切	2019年10月11日（金）必着 ※当選者には招待券を発送します。応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送をもって発表とさせていただきます。
主 催	西日本シティ銀行、公益財団法人福岡文化財団
後 援 （ 予 定 ）	福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

以 上

本件に関するお問い合わせ先 公益財団法人福岡文化財団 事務局 北川・清家 TEL 092-473-6777
--

# 日本の 神様と 舞い踊る

地域に根付く  
神楽と神舞

鑑賞者無料ご招待(全席指定)〈400名様〉

※要招待券。公演当日、座席指定券とお引き換えします。

令和元年 **11月4日**〈月(祝)〉

◆ 14時開演～16時終演予定(開場13時半)

◆ 会場…大濠公園能楽堂(福岡市中央区大濠公園1番5号)

【参加団体】… 津野神楽保存会  
住吉神社  
幸若舞保存会  
宝生流ふたば会

【司 会】… 神田 紅(講談師)





本年は、西日本シティ銀行創立15周年記念事業として、「神楽」「神舞」に加え、日本の伝統芸能「幸若舞」「能楽」の子供たちによる「舞」をご紹介します。

◆参加団体のご紹介(順不同)◆

< 神 楽 >



津野神楽保存会(つかのがらほぞんかい)／田川郡添田町津野 【演目】「折居(おりい)」

津野神楽は、田川郡添田町の上津野・下津野のそれぞれの高木神社に奉納されている豊前岩戸神楽のひとつです。弘仁10年(819年)に嵯峨天皇により豊前・豊後・筑前・筑後のうち英彦山を中心に27キロを彦山神領として勅許され、その神領48村にそれぞれ大行事社を建立しました。大行事社は修験道の中心として栄えましたが、明治5年(1872年)に修験宗廃止令により神職による神楽の上演が禁止され、大行事社も高木神社と改名されました。大正時代の初め、津野地区の高木神社総代や青年会員の間に、神楽を興そうという機運が高まり、奏楽と舞を習うことになったのが津野神楽の始まりです。現在津野神楽保存会として成人17名、児童生徒6名が伝承しており、毎年5月3日、4日の夜、それぞれの高木神社の御旅所で奉納するほか、県内各地に招かれて奉納しています。津野神楽の演目は「大祓祝辞」に始まり「岩戸」「大祓祝辞」に終わる16曲です。

< 巫女舞 >



住吉神社／福岡市博多区 【演目】「住吉鈴舞(すみよしすずまい)」「住吉扇舞(すみよしおうぎまい)」

住吉神社は底筒男神(そこつつのおのかみ)、中筒男神(なかつつつのおのかみ)、表筒男神(うわつつのおのかみ)の三神を祭神とし、1800年以上の長い歴史を持つ神社です。中でも福岡市の住吉神社は全国2129社のうち最初の住吉神社で「筑前国一之宮」と呼ばれています。海から颯れた航海の神様・心身を清めてすべての災いから身を護る神様として多くの御神徳があり、長年にわたって多くの人たちから篤い尊崇を集めています。住吉神社の巫女舞では、巫女は手に「採りもの」と呼ばれる鈴・鉢・扇・榊の枝などを持って舞います。

< 幸若舞 >



幸若舞保存会(こうわかまいほぞんかい)／みやま市瀬高町 【演目】「日本記(にほんき)」

室町時代から江戸時代にかけて隆盛した芸能の一つで「曲舞(くせまい)」「舞(まい)」「舞々(まいまい)」とも呼ばれています。幸若舞を創始したのは、大江に伝えられる系譜によれば、源義家八代の後胤桃井播磨守直常の三男修理亮直信(幼名幸若丸)で、比叡山で学問を修めた後、京都で宮仕えし、歌舞音楽に通じる優れた才能が認められて「幸若舞」という芸を作り上げたと言われます。「幸若舞」は、1976年(昭和51年)国指定重要無形民俗文化財に指定されました。現在では幸若舞の一流である「大頭流(だいがしらりゅう)」が我が国唯一の幸若舞として、みやま市瀬高町大江で伝承されており、幸若舞保存会では10人の会員が継承し「大江幸若舞」として毎年1月20日五穀豊穡を祈願して大江天満神社で奉納上演しています。又、後継者育成として、小学5・6年生が幸若舞を体験しています。大頭流の舞曲は42曲あり、平家物語・源平盛衰記・義経記・曾我物語などが題材にされています。現在舞われているのは日本記・浜出・扇の的・夜討曾我・安宅・八島・和泉城・高館・敦盛の9曲です。

< 仕 舞 >



宝生流ふたば会(ほうしょうりゅうふたばかい)／福岡市 【演目】「高砂・竹生島・国栖(たかさご・ちくぶしま・くず)」

ふたば会は、能楽シテ方五流の中の宝生流で、主に謡と仕舞という基本を稽古しています。月に2回～4回福岡市にある大濠公園能楽堂と鳥飼倶楽部で幼稚園児から高校生まで一緒に稽古しています。この子供たちの中から、子方として能の舞台に立つ子どもも育っています。また、毎年お正月には住吉神社、紅葉八幡宮に奉納しています。

お申込み方法

2019年10月11日(金)必着

①お名前 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加人数(5名様まで/ご本人様含む)を明記の上、お申込みください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

●ハガキ 宛先 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-15F 西日本新聞メディアラボ内「日本の神様と舞い踊ろう」事務局

●メール MAIL info@bunka-zaidan.or.jp ※件名を「日本の神様と舞い踊ろう申込」としてお送りください。

●FAX (FAX送付先:092-731-2232)

FAX専用お申込み用紙

※このまま切らずにお送りください。

■フリガナ ■お名前	■年齢
■ご住所 〒	
■電話番号	■参加人数(ご本人様含む) 名

●ご記入いただいた個人情報、本イベントの運営以外には使用いたしません。  
●当選者には10月中旬に直接招待券を発送し、発表とかえさせていただきます。当日受付にて、招待券を座席指定券にお引き換えします。

お問合せ

西日本新聞メディアラボ内  
日本の神様と舞い踊ろう事務局

TEL 092-753-6120 (平日のみ 9:30~17:30)